

富田五城を調べる

富田地区には昔、①榎津城・②江松城・③助光城・④戸田城・⑤前田城の5つの城がありました。もうほとんど城跡は残っていませんが、図書館の資料を使って調べることができます。

愛知の城を調べる

- 📖 『日本城郭全集』第7（愛知・岐阜県編） 人物往来社 1966 ①③④⑤
- 📖 『日本城郭大系』9（静岡・愛知・岐阜） 新人物往来社 1979 ⑤
 - ・県ごとに調べることができます。
- 📖 『愛知の城』 山田柁之／著 山田柁之 1993 ①②③④⑤
- 📖 『尾張の古城』 笹山忠／著 [笹山忠] 2008 ①②③④⑤
- 📖 『城からのぞむ』 名古屋市博物館／編集 名古屋市博物館 2007 ①②③④⑤
 - ・名古屋市博物館企画展の資料です。「名古屋市内城館一覧」から参考文献がたどれます。

中川区の城を調べる

- 📖 『名古屋市中川区郷土誌』名古屋市中川区教育振興会／編 名古屋市中川区教育振興会 1970 ①②③④⑤
- 📖 『中川区の歴史』山田寂雀／著 愛知県郷土資料刊行会 1982 ①②③④
- 📖 『中川区史』中川区制施行50周年記念事業実行委員会 1987 ①②③④⑤

海東郡の資料を見る

- 📖 「寛文村々覚書」中（『名古屋叢書』続編第2巻）名古屋市教育委員会／編 愛知県郷土資料刊行会 1983 ①②③④
 - ・海東郡のことを調べるならこの本です。村ごとにまとめてあります。
- 📖 「尾張徇行記」4（『名古屋叢書』続編第7巻）名古屋市教育委員会／編 愛知県郷土資料刊行会 1984 ①②③④
 - ・「寛文村々覚書」を踏まえて記されています。

富田五城

えのきづじょう

【榎津城】※よのきづ とも読む

富田町榎津字郷中。長田（武田）兵庫右衛門という人が居住していたと伝えられている。

えまつじょう

【江松城】

場所は二説あり、随縁寺の西、富田町江松字宮屋敷（現・江松五丁目）または、富田町江松字城屋敷（現・江松四丁目）。土方治兵衛という人が居住していたと伝えられている。

すけみつじょう

【助光城】

助光一丁目土之宮神明社あたり。もと竹藪に古碑があった。織田信長の家臣・福住（福留）右近（左近）将監という人が居住していたと伝えられている。

とだじょう

【戸田城】

戸田字蔵屋敷（現・戸田一丁目）。平季政が築いたといわれる。城跡は現在某氏私邸ともいわれる。

まえだじょう

【前田城】

前田西町一丁目。戦国時代のもの。前田氏発祥の地。城跡は現在前田速念寺。明治大正のころまで、城の遺構を示す榎の木があった。

参考文献：『中川区史』中川区制施行 50 周年記念事業実行委員会 1987、『中川区の歴史』山田寂雀／著 愛知県郷土資料刊行会 1982、『名古屋市 中川区郷土誌』名古屋市 中川区教育振興会／編 名古屋市 中川区教育振興会 1970、『愛知の城』山田柁之／著 山田柁之 1993

富田五城マップ

※写真は正確な城跡を示すものではありません。

富田図書館



前田城

戸田城

助光城



榎津城



江松城